

北海道大学低温科学研究所 共同研究集会  
永久凍土の衰退とその環境・社会影響に関する研究集会(2023年度)

会期: 2023年12月7日(木)~8日(金)

場所: 北海道大学低温科学研究所

12月7日(木): 課題別打ち合わせ

15:00 ~ 17:00 各課題グループごと(会場場所が必要な場合は要連絡)

12月8日(金): 研究発表

	発表者	発表題目	所属	備考
9:30 ~ 9:40	末吉 哲雄	開会挨拶・各種連絡	JAMSTEC	
9:40 ~ 11:15	澤田 結基	十勝・根室のアースハンモックの地形計測と凍上観測	福山市立大	
11:15 ~ 11:50	朴 昊澤	河川流出量の増加に対する起源水の寄与評価	JAMSTEC	
11:50 ~ 12:25	松岡憲知・渡邊達也	温暖化でスバルバールの永久凍土地形はどうなる?	茨城大	
12:25 ~ 13:20		昼食休憩		
13:20 ~ 13:55	曾根 敏雄	大雪山の永久凍土の温度状況	氷河・雪氷圏環境研究舎	
13:55 ~ 14:30	阿部 隆博	アラスカ・ポーカーフラットにおける衛星SARによる地表面変位計測と現地調査	三重大	
14:30 ~ 15:05	柳谷 一輝	ユーコン準州ビーバークリーク周辺における融解沈下: ALOS-2高分解能InSARによる検出と現地検証	JAXA	
15:05 ~ 15:20		休憩		
15:20 ~ 15:55	渡邊 達也	グリーンランド・シオラパルクで生じた巨大表層崩壊の内部構造と地下水流動	北見工大	
15:55 ~ 16:30	飯島 慈裕	凍土融解にともなう湖沼変化(L-DLBシステム)の発達と水文気候影響	三重大	
16:30 ~ 17:15	末吉(司会)	総合討論		
17:15 ~ 17:20	末吉 哲雄	開会の辞	JAMSTEC	現地